

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日：2022年9月8日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学バークレー校 現地言語： 英語
留学期間	2022年5月～2022年8月
留学した時の学年	3年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	3年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年8月19日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：5月下旬～8月下旬 2学期： 3学期： 4学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	45,057人
創立年	1868年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	\$6969.53	円	
宿舍費	\$4980	円	
食費	\$1000	円	
図書費	\$400	円	Introduction to German の クラスで電子の教科書を購入しました。
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	\$180	円	
現地交通費	\$64.2	円	バークレー市内で使用できるクリッパー カードを支給されたので、基本的にはそれ を使っていました。主にサンフランシ スコ市内で遊んだ時の交通費です。(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	\$100	円	現地でジムに通っていたので、そのため のウェアを買いました。
医療費	0	0円	
保険費		30,660円	形態：明治大学指定の海外旅行保険に4 ヶ月分入りました。
渡航旅費		円	
ビザ申請費		3,190円	
雑費	\$362.25	円	
その他		円	
その他		円	
合計	\$14,055	33,850円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地：羽田 目的地：サンフランシスコ 経由地： 復路 出発地：サンフランシスコ 目的地：成田 経由地：
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社：_____ 料金：_____
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：JAL 料金：253,750 円 復路 航空会社：JAL 料金：\$ 1,749.4 ∴合計：503,074 円(142 円で計算)
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店（店名：_____） <input checked="" type="checkbox"/> インターネット（サイト名：JAL ホームページ） <input type="checkbox"/> その他（_____）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮（寮の名前：International house） <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋（同居人数 2）
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン（ <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可）
4) 住居を探した方法：
留学報告書を読んで探しました。一緒に行く友達とも情報を共有しました。
5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）
世界各国から人が集まっていたため、いろんな国の人と関わることができました。毎週水曜日に coffee hour といった世界の国の料理や文化を紹介する会がよる 9 時から行われていて、交流を深めることもできました。寮自体の作りは古く、歴史ある建物の印象です。しかしながら、私たちが退寮するあたりから改修工事が行われていたので、2023 年はもう少し綺麗になっているかもしれません。明治大学から留学する人はほとんど全員 IHouse と呼ばれる本寮を選択していましたが、Unit1 やシェアハウスも選択肢としてアリだなと思いました。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。（例：現地の病院、学内の診療所）
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり（治療を受けた場所：治療は受けていない。）
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。（例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等）
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（問題の内容や相談した人等：_____）
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ラスベガスに行く際に、航空券の詐欺に合いそうになりましたが、カードの引き落としがなかったので、無視しました。
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。（例：寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）
寮のインターネットはありましたが、設定にかなり手間取りました。結果寮のフリーWiFi を使っていました。携帯の SIM は T-mobile の無制限のものを使わせてもらっていたので、出かけた先でも不自由なく使用していました。電波が特別悪いと感じたところはなかったです。
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？（例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）
日本から米ドルを 300 ドルほど持っていきました。足りなくなることはなかったですが、現金を ATM から引き落とされている子もいました。お店で 50 ドルを使ったことがあります。使えないということはありませんでした。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。
日本食高いので日本食が恋しくなるなら持っていきべきです。荷物にはなるので、我慢できるなら持っていき必要はないかなと思います。日本の些細なもの(日用品や化粧品など)が現地の人にウケが良かったので、改めて持っていきことはないかなと思います。また、サンフランシスコにはジャパントウンがあったので、どうしても場合にはそこで調達できました。現地の Amazon なども活用し、物がなくて困ったことはないです。
7) 【授業料負担型の方】 授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)
渡航前に親のクレジットカードで支払いました。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 () ・履修の制限はありましたか？ VISA の取得のために 10 単位以上の取得が必要でした。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Elementary German 1	ドイツ語初級
科目設置学部・研究科	
履修期間	7/6/22-8/11/22
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 180 分が 4 回
担当教授	Vera Felder
授業内容	ドイツ語の 4 技能（読む、書く、話す、聞く）すべてに取り組み、ドイツ語のコミュニケーション能力を相応に身につける。
試験・課題など	オンラインの教材を使用して毎日復習のような形で課題が出ていました。三回のテストと 5 回のプレゼンがありました。
感想を自由記入	パークレーの言語の授業は卒業生が行なっていることもあり、とても難しかったです。先生がドイツ語で話すので、授業の内容を聞き取るのが難しかったです。しかしながら明治大学では一年で履修する範囲を一ヶ月弱でカバーするので、短期で語学を習得したい人はおすすめかもしれません。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Introduction to Public Speaking	パブリックスピーキング入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	5/23/22-7/1/22
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が3回
担当教授	Lindsey Lanfersieck
授業内容	この入門コースは、人前で話すのが上手になるためのものです。練習を通して明瞭さと話し方の癖を改善することを目標に、構成と話し方に焦点を当てます。受講生は、効果的なスピーチテクニックを学び、様々な機会や聴衆のためにスピーチやプレゼンテーションを行うことで、口頭コミュニケーション（およびリスニング！）スキルに自信を持つ。
試験・課題など	最初は読み物がありました。6週間のなかで三種類のスピーチを行います。
感想を自由記入	第二言語が英語の生徒向けの授業ということもあり、先生の話すスピードが速くなく、聞き取りやすかったです。現地の生徒も半分ほど履修しており、交流を持つことができました。三回の異なるスピーチをするので準備は大変でしたが、成長は感じられました。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Introduction to the U.S. Constitution	アメリカ憲法入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	7/6/22-8/10/22
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	Cliff Stanley
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・米国憲法に親しむ。 ・憲法思想の潮流と憲法をめぐる歴史の一部を探る。 ・さらに勉強したいことを明確にする。 ・クラスでのスピーチやディスカッションをより快適にする。
試験・課題など	読み物が最初の二週間は課題として出ていました。その後3回のクイズを行い、成績をつけられました。
感想を自由記入	この夏初めて開講した講座らしいです。先生がパークレーの教授ではなく、外部の先生でしたが、アメリカで比較的学ぶのが難しい法律に関する授業を噛み砕いてわかりやすく説明してくださりました。秋からロースクールに通う生徒がその前段階として参加している印象でしたが、私のような一般の生徒も参加していました。弁護士や裁判官の人も多く、刺激になりました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
マイナビ、外資就活
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
官庁・公社
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
三年生が多かったので、四年生にアドバイスを受けながら就職活動を現地で行なっていました。サマーインターンに向けてみんなでエントリーシートを出したり、内定が決まっている四年生に添削してもらったりしました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	出願、選考
留学開始年	1月～3月	予防接種、滞在先の確保、ビザ申請・取得、航空券購入
	4月～7月	留学
	8月～9月	留学、帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

大学一年生の頃からニュージーランドに留学しようと考えていましたが、新型コロナウイルス感染症に伴い、学生ビザの発行が休止していたため、コロナ禍でも実留学ができる欧米に留学先を切り替えました。また、自分の得意である英語を伸ばそうとも考えていたため、現地の生活でも英語が使える国がいいと考えました。サマーセッションを選んだのは春学期の最初に留学の準備が落ち着いてできると考えたからです。留学が決まり、渡航に伴う準備をしていく中で、留学先で学ぶことの学習も進められたことはサマーセッションならではと思いました。この大学を選んだ理由は自分の持っている TOEFL のスコアで目指せる一番レベルが高い学校だったからです。海外留学をするならば東京大学よりも世界ランキングが高い大学に留学したいと考えていたため、そこを基準に選びました。また、UCLA とも迷いましたが、ランキングと気候を鑑みて UCB に最終決定しました。自分の興味がある心理学も盛んであり、サマーセッションには世界各国から生徒が参加すると聞いて、私と同じ思い出留学する人が多いのかなとも思いました。最後に、ありきたりな言葉にはなりますが、大学生活は一度きりなので、自分がやりたいと思ったことをやるのが一番だと思います。私も当初ニュージーランドに一年間留学する予定を変更し、全く違う国に全く違う期間で留学することになりましたが、自分の選択を正しいと信じられるのは自分の努力だけだと思うので、思うようにいなくてやるせない時でも、選択が正しかったと思えるように努力をすることが大切なのかなと考えています。この留学体験記を読まれた皆さんの留学も、後から振り返って「この選択をしてよかった」と思えるように祈っています。